

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



再開の喜び (生活介護藍本館)

またひとつ日常を取り戻すことができました

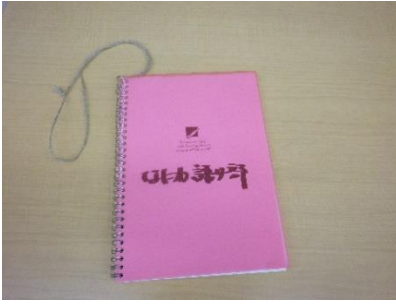
なになわ語り部の会の皆さんによる読み聞かせの様子。

新型コロナウイルスの影響で約3年間休止していた『なになわ語り部の会』によるお話会が7月より再開することができました！約3年ぶりの読み聞かせという事もあり、利用者さん、支援者の中には初めて経験する方もいれば、再開を懐かしむ人もいました。再開後初めてのお話会は「これから何が始まるのだろうか？」と皆わくわくした表情でお話の用意を見守っていました。準備が整いお話会が始まると、まず季節の歌や『幸せなら手をたたこう』など皆が知っている歌を一緒



※2面に続く

に歌いみんなもニコニコ楽し
そうな表情に。お話や絵本、
紙芝居の読み聞かせが始まる
と皆さんぐっとお話の世界に
引き込まれ、じつと聞いている
人、大笑いしながら聞いている
人と反応は人それぞれで
すが皆さんいい表情で楽しんで
います。そして利用者さん
だけではなく私たち支援者も
「次はどうなるのかな?」「布
の紙芝居初めて見た!凄いな
あ」などなど手を止めて利用
者さんの間に座り一緒に楽し
み盛り上がっています。お話
会が終わると語り部さんと生
活介護の職員との共通のノ
ートにその日の演目についての
感想やリクエストをお互いが
記入するようにしています。



共通ノート

くれよん夏祭り



フリースローでの様子



UFOキャッチャーに挑戦する子どもたち



ヨーヨー釣り

子どもたちの力で

今年もくれよんに夏祭り週
間の季節がやってきました。
出店は毎年子どもたちのなか
で人気がある千本引きやワニ
ワニパニックをはじめ、今年
から新たにUFOキャッチャ
ーとフリースロー、型抜きのお
店を追加しました。新しい
出店は子どもたちと一緒に一
から作り上げました。まず初

めに取り掛かったのは看板作
りです。色鉛筆やマジックで
模造紙いっぱいに描き、できあ
がった看板はカラフルで色ど
りどりの看板に仕上がりました。
また、お店当番を担う子
供たちは、お客さんがくるこ
とを想定して声出しのシユミ
レーションを繰り返し練習し
ていました。練習の成果もあ
り夏祭り本番では「いらっし
やいませ」「楽しいよ」と大き
な声で元気いっぱい声をだし
たりルール説明を行ったりと
自信をもってお店当番を頑張
っていました。出店をまわる
子ども達も欲しい景品を獲得
する為に張り切って参加して
いました。夏祭り期間中のお
やつも工夫して屋台を意識し
たフランクフルトやたこ焼
き、ベビーカーステラなどのメ
ニューを用意。子どもたち
は毎回「今日のおやつは何だ
ろう」とわくわくしながら楽
しみにしている様子が見られ
ました。

継続は力なり

生活介護藍(南館)では、日中活動以外の時間に個々の利用者さんが健康維持、体力向上、運動機能低下予防など様々な運動に毎日習慣として頑張っている利用者さんがたくさんいます。今回は年齢や性別などに関係なく自身の健康づくりに向き合っておられる利用者さんのことを紹介したいと思います。まずは最年長の利用者Aさん。Aさんは普段車いすを使用していますが、自宅でも週に1度訪問リハビリでストレッチや運動に励んでいます。生活介護藍(南館)でも理学療法士の方にストレッチの方法を教わり週に2回取り組んでいます。利用者Bさんも普段は車いすを使用していますが、本人の体調のいい時には支援者と一緒に歩行する機会を設けています。一時は体調不良が続き、

歩く事が困難だった時もありましたが、本人のやる気とパワーで体力が向上！今では数段の階段を支援者の支えがあれば上れるまでになりました。支援者からも「すごい！」の声が上がります。利用者Cさんは食後に7〜8mのシートの上でおしり歩きをしています。支援者も一緒にしてみますが全身運動の為すぐにバテてしまいます。Cさんも以前までは移乗をする際には抱き抱える必要がありますが、今では軸になる足を踏ん張って支援者が少し支えると自身で移乗が出来るまでに！AさんBさんCさんは年を重ねてきていますが皆さんお元気です。30代のDさんは体調不良が続くことがあり、ご家族さんと相談し毎日昼食後にラグで身体をのばす事や寝返りで身体を動かす運動、普段の生活動作の中に

立位で足に負荷をかけるなど支援者と関わりながら頑張っています。20代の利用者Eさんは車いすを使用していますが、朝は歩行器を使っていますが、歩行練習から始まります。作業などの活動中はプロンボー

ドで垂直に立位の保持、食後にストレッチと運動、帰る前にはまた歩行練習を繰り返しています。弱音も吐かずに毎日の習慣で頑張っています。同じく20代の利用者Fさんは手指の拘縮で硬くなった指

を広げる為にグリップを指の間に装着し筋緊張の緩和をしています。手洗いのたびに付け外しをしますが、めんどくさくさながら装着されています。紹介させて頂いた方はごく一部ですが、このように生活介護藍(南館)では皆で取り組む活動以外に、個々の課題に向き合って健康を意識し毎日頑張っている人がいます。一人一人がいつまでも健康であってほしいと支援者一同願っています。



2023/9/11



2023/9/11

グリップを握った利用者さん

避難訓練

8月3日、生活介護藍（南館）では地震を想定した避難訓練と、南館の支援者全員で消火訓練を実施しました。支援者の「地震が発生しました。」の掛け声とともに、みんなが一斉に頭を覆い机の下に隠れました。暫くしたのち、

周りに異常がないかを確認し、今回は放課後等デイサービスくれよんの敷地内にある駐車場へと避難しました。支援者だけでなく利用者の方々も落ち着いて移動することができていました。消火訓練はホースと水道の開栓、安全確認や連携の取り方など実際に



火災が発生した時の消火栓の使い方を学びました。今後も生活介護藍（南館）だけでなく、法人内にある他事業所でも同様に避難訓練や消火訓練などを繰り返し、有事の際に備えたと思います。



ヘルパー日誌

〜台風接近中〜

居宅介護の仕事をするうえで普段から気にしている情報があります。それは天気です。特に外出を伴う支援は天気や気温によって移動ルートや持

ち物が変わるからです。なので居宅介護のスタッフは事務所でよく天気の話になります。晴れや雨といった予報だけでなく降水確率や気温なども気にすることがあります。そんな中やってきたのが8月に上陸した台風7号です。お盆休みを直撃したこともあり交通機関を混乱させました。同時に居宅介護のスタッフも混乱させられたのです。お盆期間中は外出を伴う支援が増えていたからです。ニュースで台風の進路についての報道がある度に予定を変えるべきか、安全の為に支援をキャンセルするのかなどスタッフ同士のメールや電話の回数を普段より増やして何度も確認しあっていました。台風が近畿地方に上陸するも当日は思っていたほど雨がひどくなかったこともあり、一部の支援の予定時間を変更することはありませんでしたが、概ね通常通りの支援ができました。

多様な働き方と人材育成

当法人では、正社員、パート社員、派遣社員など、様々な雇用形態で人材を採用しています。扶養の範囲内、親の介護、子の看護など、それぞれの事情により働く時間、曜日、日数などを選択され、希望される雇用形態にて就労されています。

また、無資格・未経験の方も障がい福祉に興味を持たれ、福祉職としてのスキルを身に着けようとチャレンジされている方も多くいます。

当法人では、そのような多様な働き方、多様なバックグラウンドを尊重し、職員同士がそれぞれをリスペクトし合える関係を築けるように努めています。そのためにも、新入社員へは法人理念と行動規範の周知、人権研修、虐待理解、ハラスメント理解などについてオリエンテーションを実施しています。オリエンテーションを通じて

共通理解の下、利用者支援に当たれるように配慮することとは、人材育成の一環として職員のレベル合わせとボトムアップにつながると考えています。

福利厚生



休憩スペースをリニューアルし、個別ブース、職員専用フリーミーティングなどを設置しました。



Instagram
随時更新中！

